

北海道。

昭和の 和子ちゃん



北海道・昭和の和子ちゃん

1. とばりのおじいちゃん



2. はじめてのおともだち



この時代 近所の大人はみんな和子ちゃんのお友だち。

当時は配給でたまたま同じ昼食でたうまれてはじめてのお友だち。今も大切なお友だち。

3. 両親の入院



この時代は、肺結核看者がたくさんいたようです。

4. 家族がふえる!



家にはねずみがいて猫は名ハスターとしてみんなにかわいがられました。

5. こわかった あの日



6. これで守れるの?



毎日あった空襲警報 そのたび防空壕に逃げこんだ和子ちゃん。でも、公園には----

7 食糧難で富良野へ疎開



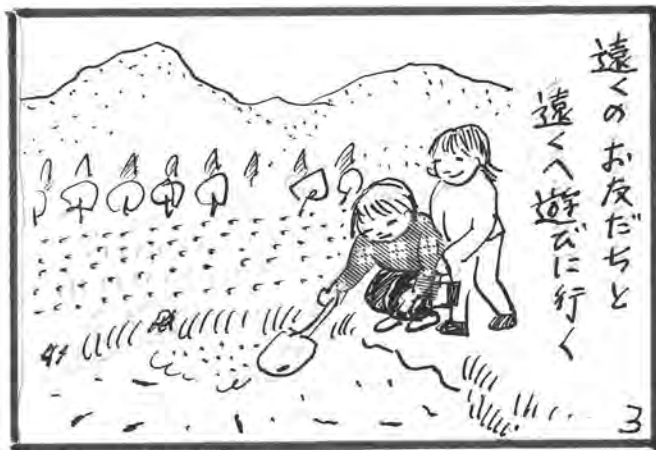
この頃 汽車は引きあげ者や疎開先へ出かける人で 満員でした。

8 富良野の疎開生活



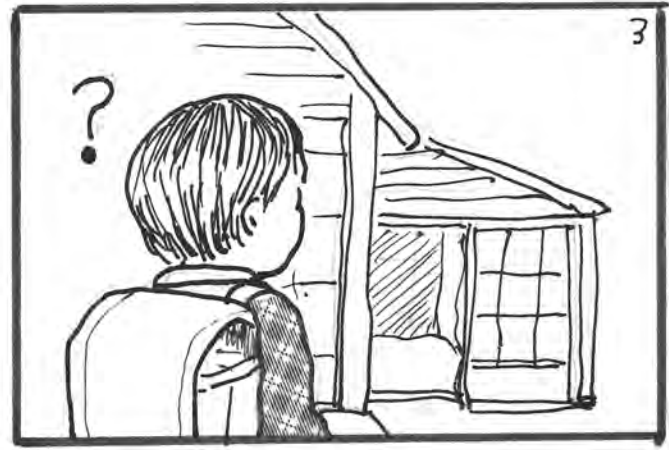
いとこといっぱい遊んだ疎開生活でした。

9 行動半径ひろがる 和子ちゃん



引きあげ者住宅がや、と沢山 たてられました。お友だちが 遠くへひろがって、行動半径が ひろくなった 和子ちゃんでした。

10 あつろ小樽と 住宅難!



引きあげ者住宅が 沢山 たてられても まだまだ 不足していた住宅、だから 石炭小屋が 住宅になるニヒモ...

11 一人あそびの 和子ちゃん



小川にたくさんいたザリガニはみんな日本のザリガニ

12 紙^{きれ}ぼーちゃんと布^{ぬい}ぼーちゃん



大人になっても三人は仲よしでした。